

■ 地形分類図「磐田・掛塚」について

地形分類図は、土地の「成り立ち・生い立ち・形」で色分けした地図であり、災害を引き起こす自然現象に対する土地の潜在的な可能性を知ることができます。土地履歴調査では、自然状態の地形によって土地を区分した地図（自然地形分類図）の上に、人間が造成した土地の状況を示した地図（人工地形分類図）を重ね合わせ表示した地図を、「人工地形及び自然地形分類図」と呼んでいます。

磐田・掛塚地区の「人工地形及び自然地形分類図」は、以下の方法により作成しました。

1. 自然地形分類は1：25000土地条件図「磐田」（国土地理院 1982）を基礎資料として編集したものです。
編集にあたっては、以下の既存資料を参考に空中写真の補足判読により修正を行いました。
5万分の1土地分類基本調査（地形分類図）「磐田・掛塚」（経済企画庁、1965）
判読に使用した空中写真は 142-A-5（複）（昭和 21.5.22 米軍撮影）、M191-A-5（昭和 21.7.11 米軍撮影）、M192-A-5（昭和 21.7.13 米軍撮影）、M197-A-3（昭和 21.7.16 米軍撮影）、M263-A-3（昭和 21.9.21 米軍撮影）、M300-A-3（イ）（昭和 21.10.27 米軍撮影）、M751（昭和 23.1.22 米軍撮影）です。
2. 人工地形分類図は2万5千分の1地形図「山梨」（平成 19 年更新）、「袋井」（平成 19 年更新）、「笠井」（平成 19 年更新）、「磐田」（平成 19 年更新）、「掛塚」（平成 19 年更新）の読図、及び空中写真（CCB-2001-1X 国土地理院撮影）の判読により作成したもので、基本的には平成 13 年時点の地形の状況を反映しています。
3. 自然地形分類の現水部については、基盤地図情報の水涯線及び海岸線データ（2008 年 6 月 3 日公開）を参考にして作成しました。
4. 本調査成果図の作成にあたっては、奈良大学の海津正倫教授、南山大学の藤本 潔教授、名古屋大学の堀 和明准教授の各氏のご指導をいただきました。

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（土地条件）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平24情使、第534号）」